

AIオンデマンド交通 シンポジウム2026 (東京)

ヘルスケアMaaS 実証プロジェクト

2026年5月

富士通株式会社 勝浜孝太





勝浜 孝太

クロスインダストリーソリューション事業本部 Trusted Society事業部 Sustainable Cityグループ マネージャー

(略歴)

- ・富士通入社後、大手通信会社向け業務Webアプリ開発・保守・運用を担当
- ・富士通製位置情報基盤サービスのサービス企画、開発、商品化、海外現地技術サポート(スペイン駐在含む)を担当
- ・「オンデマンド交通サービス」を立上げ、**全国複数の地域でのAIオンデマンド交通の導入・運用サポートやモビリティ企業・団体におけるMaaS企画等**に従事



会社概要

テクノロジーで人を幸せにする

1

国内ITサービス市場シェアNo .1*、
世界で7位のシェアを獲得**

50+

世界50以上の国と地域にある拠点よりサービスを提供しています。

1935

設立から90年、様々なテクノロジーを世に生み出し、社会やお客様の発展に取り組んできました。

* 連結ベース、グループ外企業向け、暦年ベースのIDC 定義に基づく推定値

出所： IDC Japan, 2022年7月「国内ITサービス市場シェア、2021年：COVID-19感染拡大の影響からの回復が進む」(IDC #JPJ47876122)

**IDC のサービス定義に基づく暦年ベースでの推定値（米ドルベース） 順位は2020年の売上額に基づく

出所： IDC Japan, 2022年1月「2021年世界サービス市場における国内ベンダーのポジ ショニング分析 アップデート」(IDC #JPJ48619722)

幅広い業種・業務

製造

デジタル時代のものづくり
生産性向上に向けたIoTデータを
収集・活用

- ・自動車・電機メーカー・家電
- ・ハウス・製薬・食品・紙、パルプ
- ・重工・化学素材メーカー

公共

国土インフラや地域住民を支え、
安全・安心な暮らしを実現

- ・官公庁・競馬、宝くじ
- ・警察、消防、救急・防災・保育所
- ・道路、飛行機、鉄道
- ・メディア(テレビ、新聞社など)
- ・河川、ダム・電気、水道、ガス

流通

必要なものを消費者の手に
無駄なく届ける

- ・スーパー、コンビニ
- ・ドラッグストア・百貨店
- ・卸売、商社・運輸

金融

人・想い・技術を組み合わせ
金融ビジネスへインパクトを

- ・証券・銀行
- ・保険・クレジットリース

文教

学びを通じて一人ひとりが
夢に挑戦できる未来を

- ・小学校、中学校、高校、大学
- ・公共図書館、デジタルアーカイブ

天文・宇宙

宇宙の安全保障に役立つ
システム開発

- ・研究開発機構

自治体

住民サービス向上と職員様の
業務改革をDXで同時実現

- ・市役所、区役所

ヘルスケア

すべての方が安心・安全で健やかに
暮らせるための健康長寿社会づくりを

- ・医療機関、大学病院
- ・地域医療、診療所
- ・介護事業

サステナブルな世界を実現する 7 Key Focus Areas

Vertical Areas

社会課題を解決する
クロスインダストリーの4分野



Sustainable
Manufacturing



Consumer
Experience



Healthy
Living



Trusted
Society

本取り組みにて
社会課題起点で
コラボレーション



Horizontal Areas

クロスインダストリーを支える
3つのテクノロジー基盤



Digital Shifts



Business
Applications



Hybrid IT

Key Technologies



Computing



Network



AI



Data &
Security



Converging
Technologies

富士通による地域交通への取組み

モビリティにより人々がつながり新たな価値が創出され続ける社会を実践知とデジタル技術にて実現させる

<目指す姿>

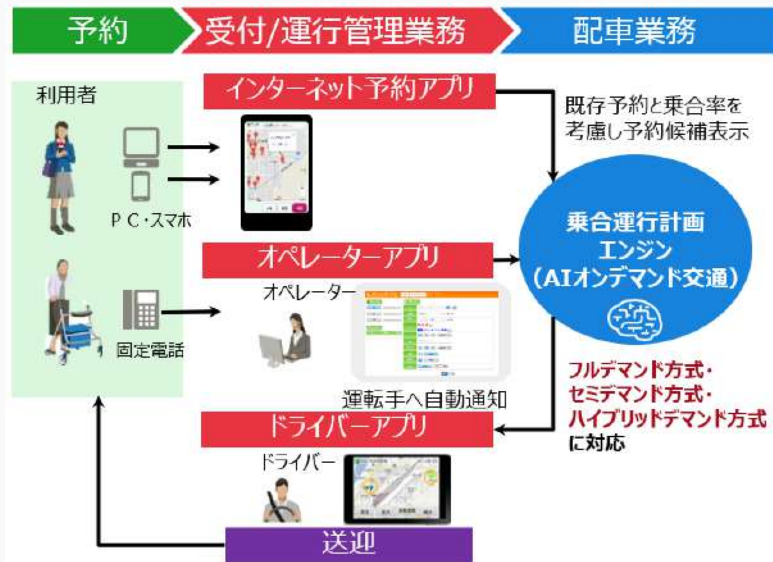
**移動制約ゼロ社会
を実現する!**



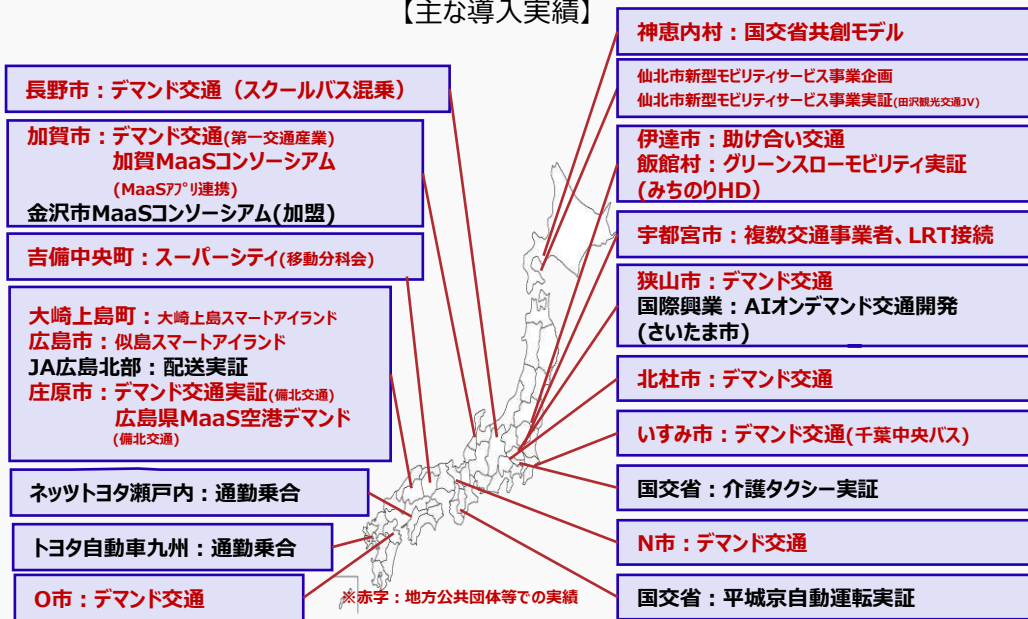
富士通による地域交通への取組み実績

2019年オンデマンド交通サービスを立上げ、地域交通のデジタル化のみに留まらず、通勤通学・介護・住民共助・物流・離島交通等様々な用途にて新たなモビリティサービスのモデル創出に注力

【オンデマンド交通サービス概観】



【主な導入実績】

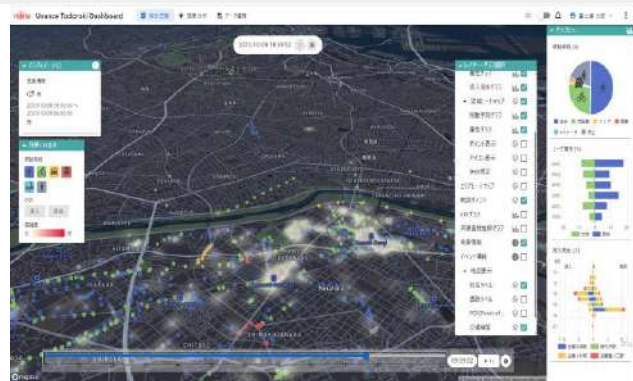


地域交通の導入計画から配車実行まで総合的に支援

デジタルツイン技術を活用した**最適な交通計画のシミュレーション**と**目的地と連動した配車**を実現させるモビリティサービスにより地域交通全体を支援

計画 持続可能な交通施策の実現

地域の移動需要を高精度に再現し、
マルチモーダルで最適なモビリティ施策を導出



交通総合シミュレーター

実行 交通サービスの利用活性化

施設側での時間軸と連動した
シームレスなモビリティサービスの提供



目的地連動配車管理サービス

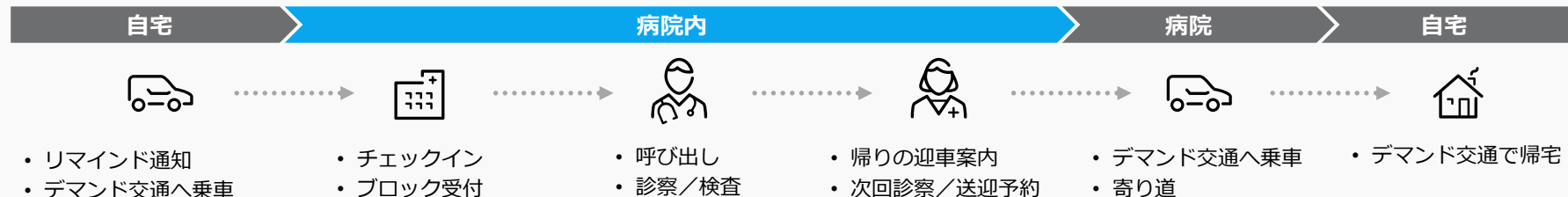
移動したい人に
最適な移動手段を

移動困難者
ゼロの社会へ

2025年度 ヘルスケアMaaS実証プロジェクト

ヘルスケアMaaSで変わる通院

電子カルテと乗合型送迎車両（デマンドバス）配車システムとの連携により病院へのアクセス向上と送迎待ち時間解消を目指し、徳島県にて実証実験（国土交通省：ヘルスケアMaaS実証プロジェクト）実施



離院時間を予測し、デマンド交通を自動予約



病院情報システム



病院予約アプリ

※次年度実装予定



オンデマンドバス
配車管理システム



帰りの送迎車両の
不足回避



車両の待ち時間
50%減



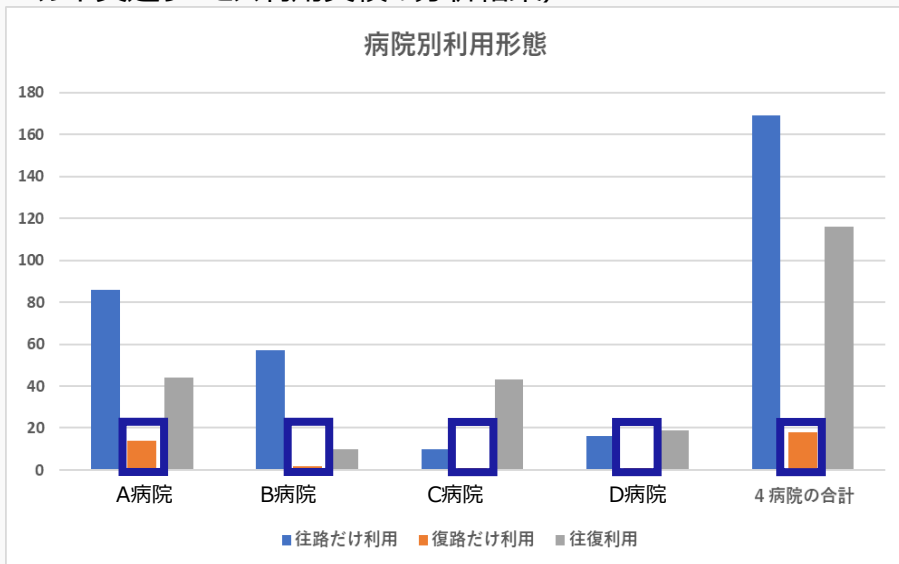
ヘルスケアMaaS実証プロジェクト



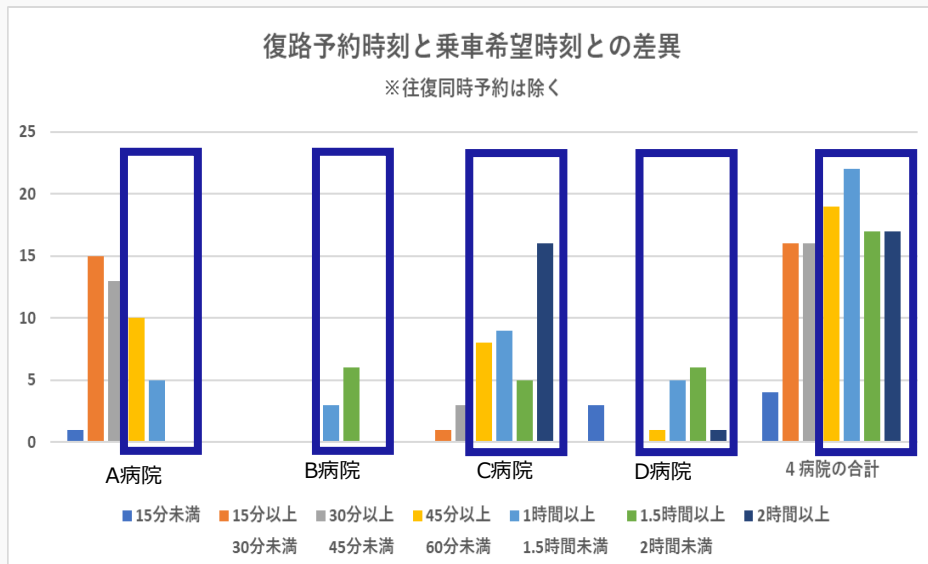
AIオンデマンド交通における通院利用の課題

地域におけるAIオンデマンド交通の主な用途として病院への乗入れ利用がされているが、認知度や集客の面で課題があると認識しており、特に**通院時の帰りの利用が伸び悩む状況**。

通院時の帰りの利用が半分にも満たない（弊社某地域でのオンデマンド交通サービス利用実績の分析結果）



帰りの待ち時間平均では半数以上が45分以上の待ちが発生



富士通にて全国の病院に展開中の病院予約システムおよび電子カルテシステムを活用し、通院患者の行動予測に着目。

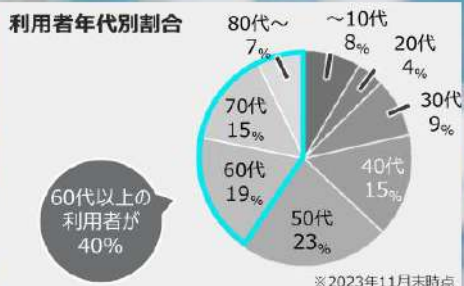
LifeMark-コンシェルジュとは

患者さんのスマートフォンと
病院の電子カルテを連携することで
快適な通院生活を実現します

- ☀ 患者さんの満足度向上
- 🕒 病院職員の負荷軽減
- 🏠 ソーシャルディスタンスの実現



利用者年代別割合



※2023年11月末時点



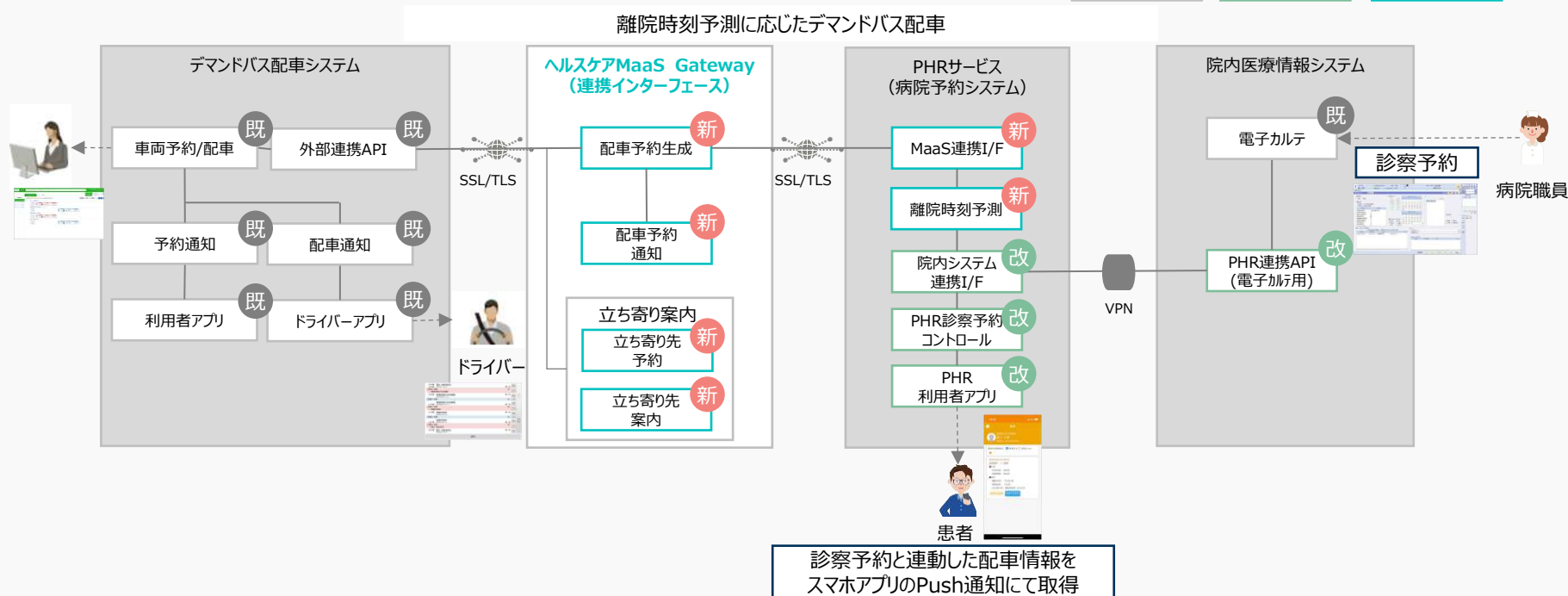
システム・アーキテクチャ概要

既存の病院予約システムとデマンドバス配車システムを連携させることにより通院時の円滑な移動手段の確保を可能とし、交通利便性の向上を実現する。

既 既存

改 既存改修

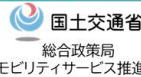
新 新規開発

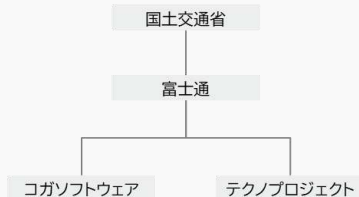


実証プロジェクトにおける体制

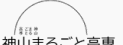
弊社内外でのデマンドバス配車システム開発の有識者と医療データの専門知識、および病院業務フローを理解した要員を配置し、相互連携を推進する体制を構築

実施体制

会社名/団体名	担当業務
	プロジェクト全体ディレクション
	- プロジェクトマネジメント - システム開発 - ヘルスケアMaaS実証
	- デマンドバス配車システム運用 - 連携インターフェース開発
	PHRアプリ改修



実証協力事業者

種別	地域	ステークホルダーの名称	役割
病院関連	徳島県	 徳島県立中央病院 TOKUSHIMA PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL	・病院施設
病院関連	徳島県 徳島市	 CUDDLE Cuddly Support	・訪問看護ステーション
交通関連	徳島県 徳島市	 徳島県 徳島県庁 交通政策課	・タクシー会社調整支援
交通関連	徳島県 徳島市	 鮎喰川タクシー株式会社 AKUGAWA TAXI	・デマンドバス運行
交通関連	徳島県 徳島市	 徳島第一交通	・デマンドバス運行
実証関連	徳島県 徳島市	 株式会社 徳島データサービス IDBS	・実証立ち合い ・インタビュー
被験者	徳島県 名西郡	 神山まるごと高専	・非患者モニター
被験者	徳島県 徳島市	 徳島市 徳島市役所 地域交通課	・デマンドバス運行インタビュー
被験者	埼玉県	 埼玉医科大学病院	・病院観点インタビュー
被験者	福岡県	 NEXT MOBILITY ネクスト・モビリティ株式会社	・デマンドバスサービス観点インタビュー
被験者	東京都	 M・NET M・NET TECHNOLOGIES INC.	・デマンドバスサービス観点インタビュー
アドバイザ	香川県	 国土交通省 四国運輸局	・デマンドバス運行アドバイス

2025.11.4～12.26の約2か月間、実証被験者計50名・送迎車両2台にて、徳島県立中央病院から被験者自宅までの範囲で実施



2025年度実証実験結果と 今後の展望

徳島実証の様子 (1/2)

サービス実証



徳島県立中央病院と実証車両



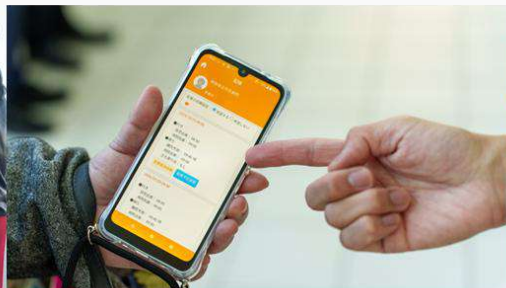
バン型の実証車両に乗車する実患者の様子



セダン型の実証車両に乗車する実患者の様子



実患者へ実証の説明をする様子



PHRアプリ操作の様子



非患者(学生)による乗車体験の様子

徳島実証の様子 (2/2)

ヒアリング実証



病院関係者と徳島県病院局への
インタビューの様子



徳島県交通政策課への
インタビューの様子



徳島市へのインタビューの様子



タクシー事業者(鮎喰川タクシー)への
インタビューの様子



タクシー事業者(徳島第一交通)への
インタビューの様子



他地域医療機関幹部との
オンライン会議の様子

ユーザビリティ

約80%の被験者がサービスに満足し
継続利用希望

高齢者にとってのスマートフォン操作は
利用継続の障壁となっている

離院時刻予測 モデルの精度

90%超が予実差30分以内、
平均待ち時間30分以達成

複数診療科受信の場合は
精度が約70%に低下

サービス事業性

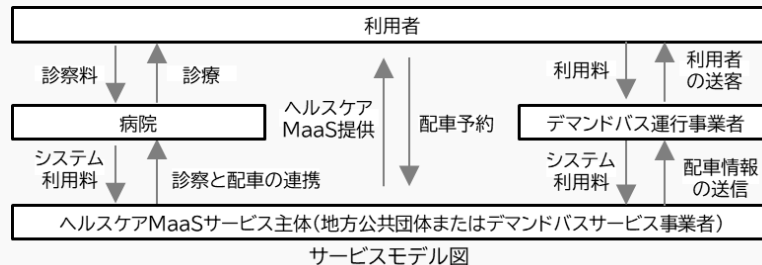
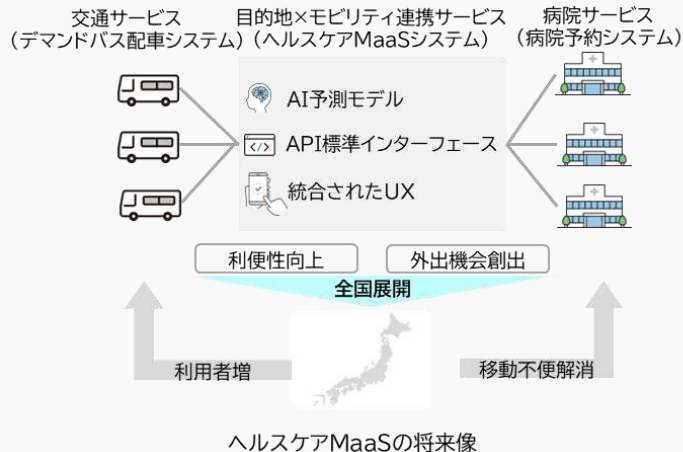
病院職員負担は軽減される
との意見が約90%

病院側にとってコストメリットが感じられるか
は約20%に留まる

離院時刻予測モデルの高度化

システム間インタフェースの標準化と 全国展開に向けたシステム整備

通院送迎サービスモデルの深化



結び

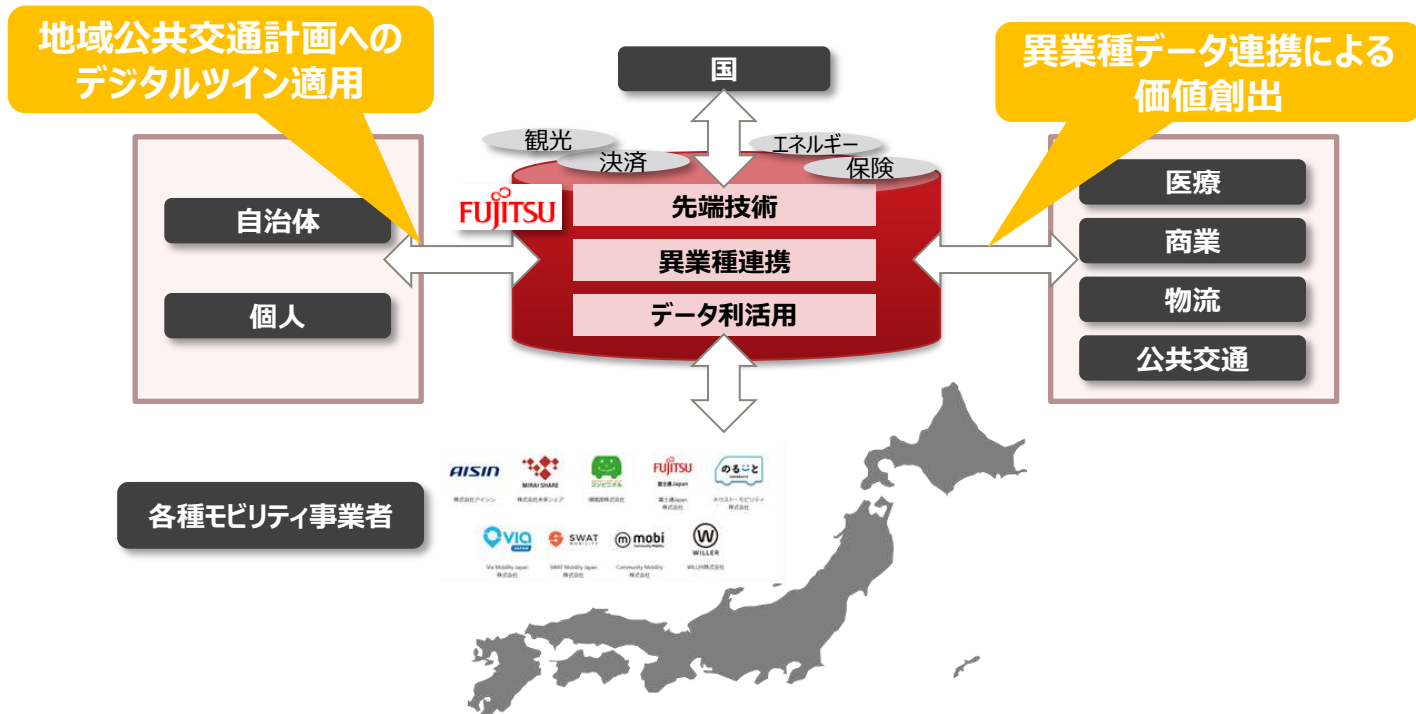
ヘルスケアMaaSで持続可能な世界へ

持続可能な地域社会の実現に向けて、モビリティ分野でのDXの取り組みを先行させ、目的地側であるヘルスケアのDXもけん引したい



地域交通を支える富士通の役割

AIオンデマンド交通研究会メンバーの皆様と協調し、地域交通におけるデータの連携と最適化を推進することで、地域交通リ・デザインに貢献したい。引き続き各社様と連携させていただきたくよろしくお願い致します。



ご参考

ご参考：ヘルスケアMaaS 2025年度成果物

以下国土交通省サイトからご覧いただけます。

[プロジェクト紹介](#)

[実証の様子](#)

[技術検証レポート](#)（設計書含む）

[OSS](#)

OSSに開発ドキュメントと資産とドキュメントが登録されておりますのでご覧いただくことでAPI仕様の詳細がご確認いただけます。



Thank you

